



ボランティアだより

登録ボランティア紹介

ECO・にこにこ瀬戸

「ECO・にこにこ瀬戸」はこんなボランティア活動を行っています

ECO・にこにこ瀬戸 代表 眞野 勲

ECO・にこにこ瀬戸は、2005 年に開催された「愛・地球博」をきっかけに、2006 年 1 月に活動をはじめた、環境について学び発信するグループです。現在グループは女性 2 名、男性 3 名の計 5 名です。毎月 1 回の定例会、地元で行われるイベント参加が主な活動です。

定例会の環境講座は、主に環境保全をテーマにした勉強会、最近では瀬戸市が始めた容器包装プラスチック分別を取り上げています。また年 1 回は、近隣の施設見学を計画しています。これまで愛知県環境調査センター、なごや生物多様性センター、豊田エコフルタウン、晴丘センター、北丘最終処分場、馬が城浄水場、東京大学演習林などを見学しました。

イベント参加は市民活動交流フェスタ、ふくしボランティアフェスティバルなどで、ごみ減量、水道水、環境ホルモンなどをテーマに発信してきました。

資源・可燃ゴミ分別ゲームは、発足以来、17 年にわたって続けています。笑顔で「にこにこ」楽しく「瀬戸を知り、瀬戸を美しくみがく」活動をしています。



災害ボランティアセンター立ち上げ訓練について

災害ボランティアセンターとは？

大きな災害が起きた時に立ち上がり、各地からかけつけたボランティアを受け入れる窓口になっています。瀬戸市社会福祉協議会ではいざという時に備えて市民やボランティア団体を中心に訓練をしており、今年度は1月29日（日）に行いました。

参加者からのコメント

本日の訓練では、ボランティア側とボランティアを受け入れる側の大変さを知ることが出来ました。

災害はいつ起こるか分からないため、日頃から家族と話し合っていくことが必要だと感じました。寒い中の訓練でしたが、これも良い経験となりました。（N. M）

私は2回目の災害ボランティアセンター立ち上げ訓練に参加しました。今回は6つあるブースの事前オリエンテーションの担当でした。

事前オリエンテーションは、活動参加マニュアルを配布しボランティアの心構えを伝えること、市内の被災状況などを説明する役割があります。今回はコロナ禍での訓練のため、非接触型体温計で参加者の体温管理をする役割が追加されていました。

事前オリエンテーションの反省は、6つあるブース全てを詳しく把握しておくことが必要だと感じました。また機会があれば積極的に参加したいと思います。（I. M）



ボランティアサロンの予定

日程	会場	時間	体験内容	協力ボランティア
令和5年 5月27日 (土)	やすらぎ会館 2階視聴覚室	午後1時30分 ～午後3時	マジック団体と聴覚 障がい者向けの観光 ガイド団体の紹介	マジックマニアーズ瀬戸 せともんR

編集だより

コロナウイルス感染症が下火になり3月13日からマスク着用が個人の判断にまかせるということですが、しばらくは様子見の方が多いのでしょうか？

今回も発行に協力していただき、ありがとうございました。